

子どもたちの目が輝く街にするために青少年委員は働きます

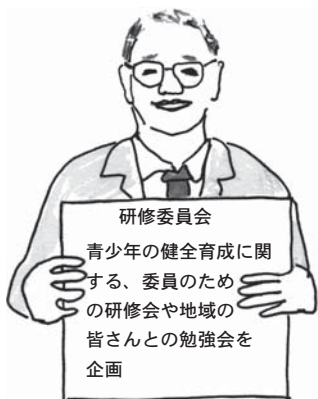


千代田区の

青少年委員からの メッセージ

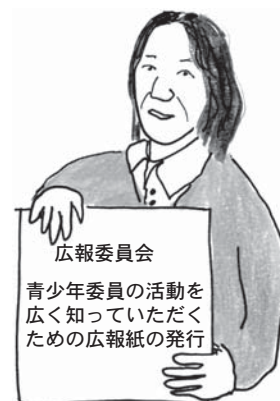
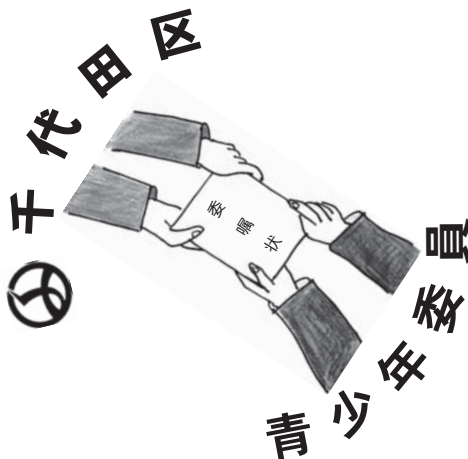
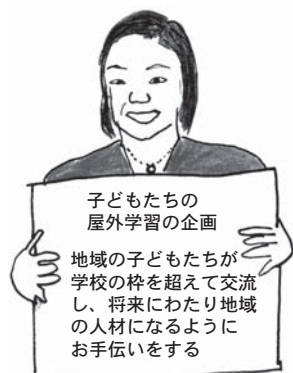
千代田区青少年委員会 こども・教育部 こども総務課

2008.9



各機関からの推薦 (小・中学校長、PTA会長)

青少年委員は千代田区の公立小・中・中等教育学校、千代田区などから推薦されたメンバーと、小学校・中学校各1名の先生が、区長の委嘱により活動しています。



主な役割

- ☆青少年活動に関する地域情報センター的な役割
- ☆他団体との連絡提携
- ☆区、教育委員会、学校と地域、家庭とのパイプ役
- ☆青少年団体・指導者の育成・援助



本年度の主な活動予定

- ・講演会 — 発達障がいへの理解を深める —
- ・ひがた探検隊 — 自然の大切さ、命の大切さを知る —

発達障がいへの理解を深める -この課題には平成16年から取り組んでいます-

取り組みの動機

千代田区内にも知的な遅れ、身体的障がい、LD（学習障がい）ADHD（注意欠陥・多動性障がい）自閉症 ダウン症・・・障がいをもつお子さんがいらっしゃいます。その中でも、青少年委員会では、発達障がいをもつお子さんを知り、理解することで、周囲の人が支援をすることが出来ると考えました。また、悩める保護者同士が知り合い、協力し合うネットワークが出来れば、よりよい環境になるのではないかと考えました。

青少年委員の立場

☆ 障がいを持つとか、持たないにかかわらず、子ども一人ひとりが自立するために取り組むという広い視野に立つ。

☆ 青少年委員会は、親・学校や行政をつなぐパイプ役であり、現在行政側も真剣にこの問題に取り組んでいるので、青少年委員会としても協力していきたい。保護者は自分の子どもの立場で、ともすると狭くものを見がちであるが、それらの子どもに対して青少年委員として何が出来るのかを一緒に考えていきたい。

取り組みの事業

※講演会

色々な角度から特別支援教育を考えるために、講師をお招きしてお話を聞く。

※座談会

障がいのあるお子さんをお持ちの保護者間の情報交換の場を提供する。



※青少年委員会ではあえて、知的障害の害の字は害ではないため、がいとひらがなにしています。

ひがた探検隊 -自然の大切さ、命の大切さを知る-

「なぜ、子どもたちに自然体験は必要か」

- 失われていった風景や情緒の復活・・・子どもたちに教えたい。
- バーチャルなものが溢れる中、実際に生き物に触れることで、循環の中で生きることを感じさせる。
- 自然や食物から生き物や人間の命の尊さを感じてほしい。



【平成20年度の企画】

千代田区の学校に通っている50人の小学生を募集。千葉県小櫃川河口に広がる盤洲干潟で、生き物や川から海へとつながる自然の循環を体験してもらいたいと、春夏秋冬に合わせ、年4回の探検を企画しました。

春は、盤洲干潟に茂るヨシの群生の中を進みながら、干潟に住む小さなカニや魚、貝といった生き物と触れ合います。



夏はスダテ漁を実体験し、漁師さんはどのように魚を取っているのかを、そして自分で捕まえた魚がいかに美味しいかを、体験してもらいます。

20年度の取組み

平成20年度は、6/28 講演会 第一部 講演会 「発達障がい特別支援の理解と課題」
第二部 シンポジウム 「世界でひとつの花を咲かせるために」
7/19 座談会 上野先生と保護者との意見交換
講師：東京学芸大学教授・上野一彦先生（LD教育の必要性を早くから主張。LD教育の第一人者）



上野一彦先生からのメッセージ

障がいを持つ子どもを
大切にすることは
全員の子どもを大切にする
ことにつながる。

青少年委員会では、この言葉を大事に、今後も見つめて行きたいと思います。

詳細は次回の広報誌「青少年委員会だより」に掲載する予定ですが、区のHPでも見ることができます。

今後の「発達障がいを理解するために」青少年委員会のとりくみ

千代田区では特別支援教育の体制作りが着々と推し進められてきております。青少年委員会では、千代田区の取り組みのバックアップに努め、自分達でできる情報収集をして、より一層理解を深めてまいります。



秋は、干潟に養分を送り込んでいる小櫃川の上流をさかのぼり、鎮守の森から流れ出た落葉の分解物が、川から海に流れ込むことで、豊饒な渚を作り出すこと学んでもらいます。

大漁だ〜♪



取れたよ！！



おいしかった♪

冬は、浅草海苔を自分の手で摘み取りそれを型枠に入れて天日干しをすることで、自分たちがいつも食べている海苔が、どうやってできるのかを体験してもらいます。



また、探検隊では参加した子供たちが、色々な学校の子と友達になれるようにチーム分けを工夫しています。安全面でも、青少年委員、学生のボランティアに加え、小学校の先生にもアドバイザーとして参加していただくなど、最大限の配慮をしています。

会長挨拶 - 青少年の健全育成と青少年教育の振興のために - 片岡勝吾

本年度より会長を務めさせて頂くことになりました、片岡です。
今期は委員24名のうち半数近くが新委員という新鮮なメンバーでの活動になります。

私達は次の三つの活動に力を入れております。一つは発達障がいを理解しようという事で、平成16年より「発達障がいを見守る会」という形で研修会や座談会を開催しています。

二つ目は小学生を対象に子供達に自然体験をと、いうテーマで千葉県木更津市の盤州干潟を中心に自然の大切さ、命の大切さを学んでいます。

三つ目は「成人の日のつどい」の企画運営のお手伝いです。

この他にも各委員が各地域と協力していろいろな活動をしています。これから青少年委員会活動にご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



青少年委員の個別紹介

麴町小 (園)



谷 眞理子
広報副委員長 (2期目)

お絵かき教室主催。
平成12年より麴町小のPTA活動・子どもが卒業してからも地域のおばさんとして居残っています。



長岡昭比古
広報委員 (1期目)

熱血！サラリーマン。地元剣友会にて子供たちに剣道を教えたり、麴町中学校の体育館でのスポーツ開放では、指導員をやっていました。その経験を生かします。

谷眞理子さん、長岡昭比古さん、お二人とも素晴らしい方で感謝しています。
谷さんは、元本校PTA会長で、現在は土曜スクール（ワークわくクラブ）の主催者で、教育活動外で子どもたちに学ぶ楽しさを教えてくださっています。
長岡さんは、本校の卒業生として、立派に社会で活躍している方です。

校長・小林勇司

九段小 (園)



小野寺健志
副会長・広報委員長 (3期目)

写真業。九段小学校元PTA会長。
地域の行事に参画する中で、子どもを主体とした町会行事、学校行事を行いたいと思っています。



鈴木孝久
研修委員 (新任)

九段小学校のPTAを4年。
地域の子どもたちが望むことは何かを探っていき、少しでもその望みをかなえる努力をしています。

小野寺さん 力ある元本校PTA会長さん。万年青年。フットワーク、芸術的センスは超一流。パワフルなゴルフスイングで飛距離は一流。母校思いで、時には辛口ご指導。本校の熱狂的応援団。

鈴木さん 信頼厚い前本校PTA会長さん。土・日は、本校野球チームの鬼コーチと化す。子どもから人気。マニアックな面もちらり、熱狂的なカープファン。精悍な面構えに宿る目と心が優しい。

校長・木村昭延

番町小 (園)



片岡勝吾
会長 (5期目)

ビル管理。子どもに関連する番町、麴町地区の委員会にほとんど所属し、学校・保護者・子どもたちのためのパイプ役をしています。



津田真知子
副会長・研修委員長 (4期目)

親子4代の番町小学校卒業生。番町小学校のために、子どもたちのために居残り続けている番町っ子。

片岡勝吾さんは番町小学校の卒業生であり、地域のことに詳しく、ご相談することが多い方です。いつも笑顔でご助力をいただいています。

津田真知子さんは番町小学校の卒業生で、番町小学校を温かく見守ってくださいます。情勢を的確に捉えたアドバイスにいつも感謝しています。

校長・有馬守一

富士見小 (園)



八尾規子
研修委員 (4期目)

預かり保育。富士見幼稚園よりPTA活動。青少年委員会を通して研修してきたことを、還元したいと居残り続けてます。



江間千重
広報委員 (新任)

富士見幼稚園よりPTA活動。青少年委員として、千代田区の子供達が、たくましく、そして笑顔で暮らせる日々が過ごせるように努力していきたいと思ってます。

富士見小ブランド好感度姉妹について、関係者100人?に聞きました

<八尾規子さ>・いつも笑顔が素敵 ・活動的 ・心が広く温かい ・細かな気配り

<江間千重さん> ・理知的でスマートな方 ・冷静沈着 ・縁の下の力持ち

「花よりも、花を咲かせる土になれ」(校長座右の銘)が、ぴったりのお二人です。

校長・昌子正夫

お茶の水小 (園)



工藤充彦
研修委員 (1期目)

仕事は紙のリサイクル。千代田区とは親子ともども40年以上お世話になっております。これからは青少年委員を通じて、恩返ししていけたらと思います。



湯本友美
広報委員 (新任)

お茶の水小学校でのPTA活動。子育てをして初めて、どれだけ地域の方々に子ども達が守られ、育てられているかを実感しました。私も、優しく、時には厳しい目を持った、千代田区のおばさんになりたいと思います。

お茶の水小学校からは、工藤充彦委員さんと湯本友美委員さんのお二人に、青少年委員の仕事をお願いしています。お二人の委員さんとも、まず子どものためになることを第一に考え、積極的に活動してくださっています。いつも明るく、前向きな委員さんです。

校長・海東元治

千代田小 (園)



泉 恭子
広報委員 (1期目)

平成16年よりPTA活動。まだ子育て奮闘中ですが、沢山の子供達とふれあい、保護者・学校に委員会の活動が手助けになれる様に頑張ります。



吉川秀隆
研修委員 (再任)

製本業。元PTA会長。大自然の中、キャンプや野宿などの集団生活を体験して、友や仲間を思いやる気持ちが分かる人に育って欲しい。

共に、本校歴代PTA会長ということもあり、現役のPTAの皆さんにとって、頼りになる兄貴分、姉貴分なっています。また校庭解放委員会や学校運営連絡会等でも、大きなお力添えをいただいています。適任者を得て、大いに感謝しています。

校長・中村 守

青少年委員の個別紹介

昌平小（園）



佐藤広志
広報委員（2期目）

サラリーマン。幼稚園よりPTA活動。地域の子ども育成活動の最前線に取り組んでいます。親や地域がしっかりしたネットワークを作ることで、予防や早期の対策が打てると確信しています。



河野宏明
研修委員（新任）

工芸品の製造卸売業。昌平小学校PTA副会長。子供を中心に、地域、学校、保護者の輪を、より大きく、より強くすること。また、出会いを大切に、一緒に考え、一緒に喜びあえる活動をしたいと思っています。

佐藤さんは、幼・小PTA役員経験を生かし、コミュニティースクール運営委員会をはじめ地域の子ども会等で子どもたちの健全育成にご貢献いただいております。河野さんは、小学校PTA役員をはじめ、子どもたちのスポーツ指導に熱心に取り組まれるとともに、地域と学校とのパイプ役としてご貢献いただきたく、推薦しました。 校長・浅川 宏

和泉小（園）



宮澤藤男
副会長・研修副委員長（4期目）

薬品会社オーナー。元PTA会長。学校・幼・保・子ども園・児童館などとの関係が希薄にならない様に、両方の間に立って努力したいと思いません。



小田倉悦子
広報委員（新任）

いずみ幼稚園よりPTA活動。子供達が夢中になれるものを見つけていつも輝く笑顔でいてほしいと、心から思います。何でも相談出来る近所のオバサンを目指します。

宮澤さんは、PTA顧問・運営連絡会委員等、本校の教育に常に熱きエールを送って下さり、堅忍不拔の志のもと町会・地域のリード役として御活躍されています。小田倉さんは、地域活動を通して学校の子供達を「わが町の子・地域の子」として慈しみ育てられ、子供達に先憂後楽の心構えを示して下さいます。 校長・額賀 聡



2007年10月 おそろいのポロシャツを着て千代田区民体育大会に参加

麴町中



石井利之
広報委員（新任）

青果食品卸業
平成13年～16年麴町中学校PTA会長。青少年委員は、個々に学校・地域・行政に関わっているので連携・協力して知恵を出していけば、様々な場面での原動力或いは、サポートが出来るのではないかと思います。



管外研修で

本校の23期生であり、第37代PTA会長（4年間）を勤めています。その経験から、麴町地区の青少年の課題を的確に把握できるので推薦しました。 校長・村上みな子

市橋 神田一橋中



藤森香代子
研修委員（新任）

主婦。学校運営連絡会委員・西神田児童センター運営委員。まだ地域の中で何ができるか？ですが、青少年委員として吸収した事を外に発信し、何かしらお役に立てれば・・・と思います。

藤森さんは、平成18年度のPTA役員として本校の教育活動や地域の活動に大きな貢献を果たしました。
神田一橋中学校長・岡田行雄

九段中等



入江忠明
（新任）

獣医師（特に馬）。区内の学校で子どもがお世話になっている親のひとりとして、地域の活動に貢献できればと思っております。少々年季の入ったニューフェイスですが御指導よろしく申し上げます。



ひがた出発時のオリエンテーション

本校前・後期課程それぞれにお子さんが通っていて、本校近隣に在住。PAや部活も通じ学校のよき理解者であるので推薦しました。
副校長・藤井英一

文化スポーツ課



濱田 敦
広報委員（2期目）

卸、小売青果業。町会や地域の架け橋になれば・・・と思っています。子どもたちには、集団活動を通じて人と人とのふれあいの大切さを知って欲しい。



青少年委員制服 おそろいのグレーのブレザー

濱田氏は、平成13年よりスポーツセンター（当時総合体育館）の個人開放事業におけるバスケットボールのチーフ指導員として、区のスポーツ振興事業に協力していただいている。また、九段小学校のミニバスケットボール指導員として、子どもたちにスポーツの楽しさを教えるとともに青少年の健全育成に寄与している。以上のことから、文化スポーツ課では濱田氏が青少年委員に適任である、として推薦したものである。

児童・家庭支援センター



遠藤 仁
広報委員（2期目）

メディア関係。富士見PTA元会長。青少年の育成・援助を通して、地域セキュリティ、地域価値を高める等、微力ながらお手伝いしたい。



西角スミ江
研修委員（新任）

西神田児童家庭支援センター運営協議委員。青少年委員会は、私の勉強の場でもあり、現役青少年の母として少しでもお役に立ちたいと思います。

小中学校のPTA役員や町会・商店会など第一線での活動経験が豊富で、何事にも熱心な遠藤さん。ご活躍大いに期待しています！西角さんには児童センター運営協議会で大変お世話になっています。いつも物静かで控えめな方ですが、チャーミングな笑顔を絶やさずきびきと事業のお手伝いをしてくださる方です。

九段小担当先生



小松田良
研修委員（新任）

地域の皆さんが、子どもの教育また安全・安心対策にとっても熱心な千代田区に赴任してきて6年になりました。

本校生活主幹。気は優しく力持ち。ただし春先はスギ花粉によるアレルギー対策でマスク王子に。アメリカカンフットボールで鍛えた心身で九段の守り神。

校長・木村昭延

神田一橋中担当先生



関口清臣
広報委員（新任）

今年度は青少年委員の一員として、地域の方々と一緒に汗を流せたらと思っています。よろしくお願いします。

本校の統合と同時に着任し、以来、保健体育科教諭として規律ある授業を展開するとともに、学年主任として生徒の健全育成に励んできた。また、今年度は生活指導主任として生徒の安全指導に尽力している。

校長・岡田行雄

こんな活動も行っています。

管外研修（勉強会）

時代は変化し、世の中も子ども達も変わります。

教育の問題も考えたいことはいつの時代にも新しく出てきます。

青少年委員は「今、教育には何が必要で、地域の者として子ども達に何ができるか」に敏感でなければいけません。

子ども達のまわりで起きている問題を把握し、教育行政のあり方なども広い視野で考えることが大切だと考えます。

また、管外研修は、みんなで共有したい知識を得るためと、アイデアを出すために行います。テーマに沿って講師をお招きし、話を聞いて、たっぷり議論し合います。委員同士だけでなく行政の方ともコミュニケーションをとりながら、熱い時を過ごします。

平成20年度 管外研修 2008. 7/5～7/6 メレーズ軽井沢にて

第一部 「千代田区の子どもたち」

講師：昌子正夫先生（富士見小学校校長）

第二部 「保健室からみた子ども達の心と体」

講師：中村豊子先生（富士見小学校 養護 非常勤職員）



青少年委員会による「成人の日のつどい」への参画

毎年の「成人の日のつどい」の企画・運営は、公募の新成人（4～5月に募集）と青少年委員により結成される「成人の日のつどい企画運営委員会」により行われます。

青少年委員会では新成人のほとばしるエネルギーと若い感性に眩しさを感じながらも、少しばかり人生経験を積んだおじさん、おばさんとして新成人の皆さんと共にひとつの思い出を作り上げるお手伝いをさせていただいています。子どもから大人の社会へ仲間入りする新成人の門出をお祝いし、また青少年委員会活動の集大成として、青少年委員会は全力で「成人の日のつどい」に協力しています。

青少年委員会へのHPの開き方

* 区のHP <http://www.city.chiyoda.lg.jp/>を開き、

→千代田区の総合ホームページ>トップページ>福祉・学校>子どものために・一人親家庭のために>

児童の健全育成について>青少年委員活動 で開いてください。

あとがき

千代田区のいろいろな地域から推薦された青少年委員は未来ある子どもたちのためにさまざまな活動を行っています。今号の広報誌はそんな青少年委員をどのような人が、又どのような活動を行っているかを紹介してみました。ご意見やご質問等がございましたら、ぜひお近くの青少年委員までお声をかけてください。